



麓小学校便り 特別号

校内研究だより



やさしく 思いやりがあり、素直な子
かしこく 話をよく聞き、考えがもてる子
たくましく 体を鍛え、粘り強い子

令和 7年 3月21日

文責 麓小学校資料調査部

麓小学校の校内研究についてご紹介します

日ごろより本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。まもなく令和6年度が終了します。今回は学校だよりの特別号として今年度の「校内研究」についてみなさまにご紹介いたします。

市内の小中学校は各学校の実態に応じて校内研究に取り組んでいます。麓小学校も長年、算数科を中心に授業法改善や教材開発に取り組みながら児童の学力向上に努めてきました。

また、令和6年度・7年度の二年間、佐賀県教育委員会から「理数教育」の研究指定を受け『**自ら考え、協働しながら学ぶ児童の育成～知的好奇心を大切にした算数科・理科における問題解決学習をめざして～**』というテーマを設定し、算数科と理科の研究に取り組んでいます。

めざす子どもの姿

◎「自ら考える子ども」

自ら学習問題（問い）や事象に向き合い、必要な情報を集め、整理・分析し、自分なりの考えをつくること、そしてそれをまとめ、表現できる子ども

※教師は、子どもに「学びを委ねる」部分を大事にし、自分で見通しを立てたり、自己選択をしたり、振り返ったりする場面を設けながら、主体的に学ぶことに繋げていく必要があると考えます。

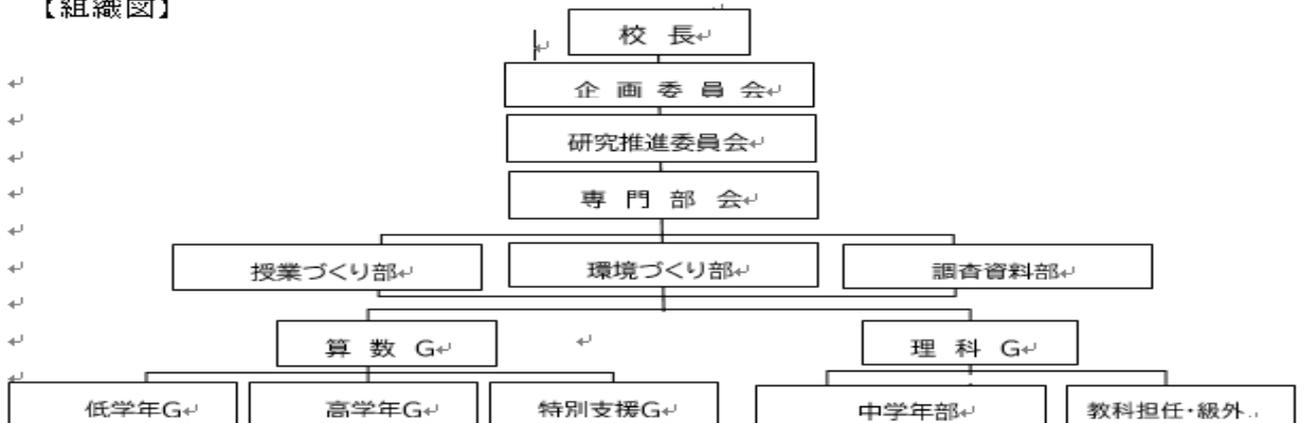
◎「協働的に学ぶ子ども」

一人一人が個別に考えたこと、調べたことを比べたり、すり合わせたりして、共有の考えや新たな考えを生み出すことができる子ども

※子どもと教師が評価の基準を共有した上で、子ども同士で学び合ったり、お互いを評価し合ったりする協働的な場面を、意図的に設けていく必要があると考えます。

★学習課題に対して、既習事項や生活体験と結びつけながら考えたり、学習したことを生活の中でも生かしていこうとしたりする習慣も身に付けさせていきたいと考えています。

【組織図】



研究の取り組み

※こんなことに取り組んでいます。

- ①講師を招いての「理数教育」について理解を深めるための職員研修
- ②講師を招いての研究授業（低・中・高・特別支援教育グループ）
- ③研究テーマをめざした日ごろの授業展開・教材研究
- ④児童や保護者実態や意識を調査するためのアンケートなど
- ⑤算数科や理科を身近に感じることができる環境づくり（掲示物・クイズなど）

研究授業の様子

※全クラスで授業研究に取り組んでいます。その一部を紹介します。★は本校の研究における学習の重点項目です。

低学年グループ 1年2組

★具体物を扱う時間

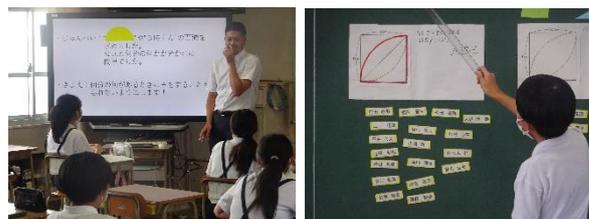
11月20日（水）算数科【かたちづくり】
一人一人、形づくりをして色板がどう動いたかを考える活動をしました。子どもたちは楽しそうに色板を操作しながら、クイズを出したり考えたりすることができました。



高学年グループ 6年1組

★考えの形成・思考の整理物を扱う時間

7月12日（金）算数科【円の面積】
円の面積の公式やこれ迄学習してきた面積の公式を使ってラグビーボールの形の面積の求め方を考えました。式と図で考えを整理しながら解決し、自分の考えを説明することができました。



特別支援教育グループ こすもす7組

★具体物を扱う時間

10月16日（水）算数科【面積】
長方形や正方形の面積を求める公式を導き出す活動をしました。子どもたちは、 1m^2 の正方形が何個並ぶかを、透明シートや 1m^2 タイルを使って考えることができました。



中学年グループ 4年3組

★学び合う活動の充実

11月13日（水）理科【ものの温度と体積】
今までの生活経験を題材にし、ペットボトル内の空気は、あたためたり冷やしたりすることで体積が変わるのかを考えました。図の中に空気の様子を描き、説明することができました。



今後どのようにしたら「みずから考える子ども」「協働的に学ぶ子ども」を育てることができるか、よりよい授業研究会を目指していきます。